

## 『わたしのお客様』

株式会社伊東屋 京都店

山本 梨香

2017年9月6日、新しい店舗に配属され新規オープンの日。想像を超えるお客様の数と忙しさでした。自分が受けた問い合わせを調べながら両耳からアルバイトさんの質問を聞き、答えを返すような日が何日か続きました。正直今思い返してみても、その当時の記憶がほぼ無く、精一杯気を張っていますが、少し気を抜くと弱音を吐いてしまいそうな状態でした。

そんな中、1人のお客様と出会いました。応援に来てくださっていた上司から引き継いで対応したお客様。自分自身は本当に大それたことはしておらず、久しぶりにリラックスしてお話できるお客様という印象でした。そんな私を気に入ってくださったのか一度店を出た後に再び来店をしてくださり、差し入れとお手紙をいただきました。精一杯気を張りつつも、まだ慣れない店と慣れない客層、多忙な日々にくしくしんどいことの方が多かったように思いますが、お客様に必要とされた事で一気に報われた気がしました。

私が副店長に昇格をし、その報告をするとまるで自分のことのように喜んでくださり、「お祝いね」とお手紙とケーキをいただきました。家族やスタッフにお祝いをされることはあっても、お客様にお祝いをしていただけることなんて滅多にないことだと、幸せな気持ちでいっぱいになりました。「山本さんがいてくれるからお店に行きやすいわ。ずっといてね」というというお言葉もいただくことができ、自分が存在する意味を感じることができました。

仕事は楽しい事ばかりではなく、辛いことの方が多いため、頑張っても結果が出せず気持ちが腐ってしまう時期もあったりしました。でも、お客様は必ず見ていると思います。仕事を続けていれば誰かは見ている、気持ちを腐らせている場合じゃないと思わせてくれるのは、いつもお客様だとこの時に強く実感しました。

自分がだめになりそうな時に、いつもこのお客様のことを思い出します。